

島原高校と議員との意見交換会の要旨

○参加者 議員：初手議員、本多議員 学生：島原高校2年生3名、1年生1名

○発表テーマ：ふるさと島原の再発見

○意見交換会要旨

(本多議員)

人口減少については、長崎の他の町も、やっぱり同じような悩みを抱えてて、長崎県自体が抱えてる悩みそのもの。地元の魅力を利用していかんと駄目っていうふうに本当に思うが、島原市のことや、私達の長崎とか中学生小学生ぐらいのときには、何か習いましたか。

(生徒)

そういう地域の学習をしたんですが、あまり覚えてないってところがある。

(本多議員)

情報化社会だから、世界の情報などの方が教育へ向かうところもあるが、自分たちの魅力を知るためにどうしたらいいのかなと、今日せっかく発表されたんで、もうちょっと深く考えてほしいと思う。発表については、時間もばっちりだったし、とても良かったと思う。

(初手議員)

発表については、それぞれポイントが整理されており良かった。その中で、人口減少の緩和に着眼点をおいて、地域教育の充実や文化施設の充実、イベントによる地域のPRなど方向性は出しているの、じっくり話し合っていくことによって肉付けしていけるのだと思う。皆さんが卒業して、もし都会に行くことになっても島原の魅力をPRできればいいなと思う。

(本多議員)

せっかくの機会なんで他にも意見交換できればと思うが、何かありますか。

(生徒)

興味がある分野として、ジェンダー平等とかです。同性婚やパートナーシップについては、長崎県でこれからどのようにしていくのか気になる。

(本多議員)

同性婚とかパートナーシップに関しては、自治体単位になってくるので、例えば長崎市でOKになるとかそういったお話しになっていくと思うんですけども。いろんな生き方や、価値観が認められるような世の中に今なっていていきます。そういったお話しをぜひ議員にも伝えてほしいと思う。

(初手議員)

何にしても新しいものを作るときには必ず話しをし、自分の考えを伝えて説得をして理解を求めるとことが基本。そういう意味で、今のうちから問題を提起していくことは、皆さんの一番の役割かもしれない。新しい時代を作っていく意味ではですね。

(生徒)

農業のことなんですけど、すごく人材不足で本当に繁忙期は休みもない人も多いと思うけど、人材の確保についてはどのようにしていくのか。

(本多議員)

長崎県としても、農業も漁業もそういった一次産業には力を入れないといけないって言ってます。そして農業に関しては、長崎県の場合、新規就農者の定着率は高い。それにプラスして、移住者へのアピールや外国人労働者の方の力を借りようと働きかけをしている。

(初手議員)

将来、確かに人材、労働者が不足していくので、皆さんも勉強して、就職し、どういった職業に就かれるかわかりませんが、自分の職業だけじゃなくて、周りにも目が向けられるよう気持ちを常に持つておくことが大事。

(生徒)

人材不足について、介護の分野についてどのような対策がとられているのか。

(本多議員)

介護の世界でも、重労働の部分には介護ロボットを導入し、活用しながらやってもらうとか、日報の作成に言語入力できるシステムを入れたりなど、時間をかけなくて済むよう ICT 機器の導入に対する支援なども行っている。

(初手議員)

あとは介護に携わってくれる若い人たち、皆さんたちなんですね。

若い人が介護に魅力を持ってくれるような環境作り、だから給与を上げるのも、復職する時の条件を良くするなども一つの環境作りなんですけど、今まで携わった人が働きやすい環境を作っていくことも当然必要。

最後に、コロナ禍の中いろんなことが制限された学校生活だったと思うんですけど、でも、今コロナが落ち着いてきて、これから勉強し、大学進学や就職されるけども、今までできなかったことをやるっていうことは本当に大事ですので、体に気をつけながら頑張ってください。